

様式第4号（第14条関係）

埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

令和 5年 6月 30日

（あて先）
埼玉県知事

報告者 氏名又は名称 川口土木建築工業株式会社
住所 埼玉県川口市本町 4-11-6
法人の場合は代表者の氏名 代表取締役 古川 元一
電話番号 048-224-5111

埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第14条第2項の規定により、次のとおり報告します。

事業活動の概要

ふりがな	かわぐちどぼくけんちくこうぎょう			
事業所の名称	川口土木建築工業株式会社（本社第1ビル、本社第2ビル、資材センター、春日部営業所、白岡営業所）			
事業所の所在地	〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-11-6 （本社第1ビル） 〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-16-15 （本社第2ビル） 〒333-0866 埼玉県川口市大字芝 6940 （資材センター） 〒344-0006 埼玉県春日部市八丁目 325 番地 （春日部営業所） 〒349-0217 埼玉県白岡市小久喜 674-3（白岡営業所）			
事業の内容	総合建設業 不動産業			
事業の規模	資本金 （万円）	21,000 万円	主要製品	土木請負一式 建築請負一式 住宅販売
	従業員 人数（人）	290 人	事業所の 敷地面積	本社第1ビル 626 m ² 本社第2ビル 1,476 m ² 資材センター 2,422 m ² 春日部営業所 - m ² 白岡営業所 - m ² 合 計 4,524 m ²
	（ ）		（延床面 積）	本社第1ビル 1,452 m ² 本社第2ビル 1,970 m ² 資材センター 191 m ² 春日部営業所 48 m ² 白岡営業所 30 m ² 合 計 3,691 m ²
地球温暖化対策推進者名	役職 建築管理部 部長	氏名 小島 正美		
担当者	所属 建築管理部 次長	氏名 石井 健一		
連絡先	電話 048-224-5111	F A X 048-224-5111 電子メール kenichi.ishii@kawado.co.jp		

1 環境方針 ※（見直しを行った場合、記載すること）

制定日	平成 15 年 1 月 6 日	改訂日	平成 28 年 10 月 1 日
1. 建設業にて生じる環境影響を特定し、その予防と継続的改善を図る。 2. 環境方針達成のために環境目標を設定し、全社員が目標達成を目指し活動する。 3. 事業活動における環境汚染の防止、環境保護に努める。 4. 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。 5. 環境負荷低減を実現するために、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、継続的に改善する。			

2 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック結果 ※申請時からの達成率の変化状況

項目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
今回達成率	93.0%	100.0%	100.0%	67.0%	100.0%
認証時達成率	90.0%	100.0%	100.0%	67.0%	—
項目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
今回達成率	88.0%	40.0%	82.0%	63.0%	
認証時達成率	86.0%	40.0%	75.0%	58.0%	

(各項目の取組に関する情報・説明) ※当期に取り組んだ事項を記載する。

<p><節水・水></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの1回の排水使用量を抑える調整の実施。 ・利用者の節水意識の向上を目指した教育の実施。 <p><製品開発></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社設計物件のマンションにエコキュート等の環境配慮製品を提案。 <p><グリーン購入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙は、植林木パルプ配合、ECF（無塩素漂白）製品を使用中 ・消耗品購入の際は、エコマーク製品を優先購入している。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報公開。 ・埼玉県地域防災サポート企業・事務所に登録。 <p><CO2削減></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かわぐちエコドライブ宣言」に基づき、「エコドライブ10のすすめ」の教育を実施し、燃費向上を図った。 ・社有車運行管理表により毎月各車両の燃費及びガソリン使用量を把握し、改善を図った。 <p><廃棄物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ等の分別方法を、職場の会議を通じて全社員に周知徹底を図った。 ・各フロア別にごみを計量し、分別意識の改善を図った。
--

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 建物系CO₂排出量実績

項 目		31/1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	139.0	148.0	144.0	143.0
原単位	t-CO ₂ /	0.0377	0.0401	0.0390	0.0387
原単位指標	(床面積) m ²	3691	3691	3691	3691

イ) 工場・現場系CO₂排出量実績

項 目		年度	年度	年度	年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年				
原単位	t-CO ₂ /				
原単位指標					

ウ) 自動車系CO₂排出量実績

項 目		31/1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	41.2	42.2	41.5	46.2
原単位	t-CO ₂ /	1.3733	1.4552	1.4821	1.5931
原単位指標	(台数) 台	30	29	28	29

合 計

項 目		31/1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	180.2	190.2	185.5	189.2
原単位	t-CO ₂ /	0.0488	0.0515	0.0503	0.0513
原単位指標	(床面積) m ²	3691	3691	3691	3691

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準値 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	CO ₂ 原単位 (t-CO ₂ /)	基準値 (t-CO ₂ /)	増減量 (t-CO ₂ /)	増減率 (%)
2 年度	190.2	186.4	3.8	2.0%	0.0515	0.0505	0.0010	2.0%
3 年度	185.5	186.4	△0.9	△0.5%	0.0503	0.0505	△0.0002	△0.4%
4 年度	189.2	186.4	1.5	1.5%	0.0513	0.0505	0.0008	1.6%
平均増減率				1.0%				1.1%

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明(対象年度に取り組んだ対策、取組を記載する。)

建物系 CO₂ 排出量の今年度実績(143.0 t-CO₂/年)は、昨年度実績からわずかではあるが削減された。ひとえに、職員の地道な省エネ活動の結果であると考え。一方、自動車系 CO₂ 排出量においては、台数が増えたとはいえ、昨年実績から 4.7 t-CO₂/年 ほど上回ったことは、来期への反省材料として職員へ周知させる。

3 取組及び対策状況、結果の評価、見直しの説明（PDCAの状況）

（1）今期に取り組んだ対策。次年度への取組に関する情報・説明

（対象年度におこなった内容、変化した管理事項も記載する。）

1）使用電力削減の取組

- ①フローアの照明は必要箇所のみ使用し、無人区域における消灯を徹底した。
- ②空調は冷房時 28℃、暖房時 20℃の温度設定の徹底を図り電気使用量及びガス使用量の削減を図った。
- ③毎年5月から10月を夏のスタイル実践期間とし、事務室では軽装とする等の省エネに努めた。
- ④昼休みの消灯を徹底した。
- ⑤OA機器の省エネ設定、不在時の電源OFFを徹底した。

2）通勤、業務使用車両の燃料(ガソリン)使用量の削減の取組

- ①車両の交換及び小排気量化を継続し、燃料使用量の削減を図った。
- ②定期的にエコ運転教育を実施し、効率的な運転により燃料使用量の削減を図った。
- ③アイドリングストップの実施を徹底し、使用燃料の削減を図った。

（2）目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

直近の内部監査実施日： 令和4年9月5日～9月21日

見直し結果、改善事項について、ISO改善委員会において、各責任者を通じて全従業員に伝達を図った。

（3）代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

直近のマネジメントレビュー日： 令和4年9月28日

代表取締役が全体の評価を行い、「目標」の確認を行った。

4 公表（取組実施状況報告（エコアップ認証）の公表状況）

●公表方法は以下の通り

事業所：川口土木建築工業株式会社 本社第一ビル 川口市本町4-11-6

時間：8：00～17：00（土・日・祭日を除く）

場所：本社2F 受付カウンター

電話：048-224-5111

ホームページアドレス：<https://www.kawado.co.jp/>

その他：